

問1 (80点)

【採点のポイント】

- ・ 4種類の責任感について資料を正確に読みとっていること。
- ・ それぞれの責任感について、具体例を用いて説明していること。
- ・ 500字程度という条件を守っていること。

【解答例】

ブラックバイトの職場で学生が感じてしまう責任感としてまずあげられるのは①仕事への責任感で、これは通常の職場でも感じるものだが、最大限人員を削って利益を出そうとするブラックバイトの職場では、通常とは異なるレベルで作用する。その学生が働かなければ実際の業務遂行が不可能だという状況の中で、急な呼び出しやシフトの強制に対し学生が必死に順応しようとする。この責任感は②仕事の「質」への責任にも及ぶ。飲食業の接客対応や個別指導塾での子どもの進路指導など学生バイトに依存している仕事の多くがサービスの質が問われる仕事であり、学生はより強く自分の仕事に自負を持ち責任感を強めていく。さらに、学生の責任感はある種の③管理責任にも及ぶ。自分自身がシフトに入るだけでなく、他の学生のシフト管理や後輩の学生バイトの教育など、個人としての責任の範疇を越え、職場全体、仕事全体の運営にまで責任感は広がる。そして、学生の責任感は④結果責任の次元にまで及ぶ。売上の責任を果たせなければ罰金などのペナルティが科されるなど、企業の業績に対する責任感まで持たされる。これは、仕事への責任感とその延長で発生する質への責任や管理責任とは異質

の、企業に対する責任感だといえる。

(517 字)

## 問 2 (60 点)

### 【採点のポイント】

- ・下線部について説明していること。
- ・アルバイト学生の「責任感」を引き出す仕組みについて論理的に説明していること。

### 【解答例】

系統的な商品の開発・流通・販売のシステムとは、製造業のベルトコンベアーシステムのよ  
うに、「科学的」に設計され、膨大な工程に分割され、配置された、フランチャイズチェーン  
の仕組みである。このシステムでは、現場の労働者は工程の一つに割り当てられ、定められた  
マニュアル労働に従うことが求められる。今日のフランチャイズ型経営では、本部が商品開発  
や流通網を掌握し、現場の店舗には、マニュアルに従った販売の責任のみを課している。こ  
うした中で本部が流通のスピードを加速させると、アルバイトの上に立つオーナーや正社員です  
ら、マニュアル労働のために無理矢理生活を犠牲にしなければならない。学生アルバイト  
は学生でありながらも、こうした巨大な流通システムの一部に組み込まれ、監視カメラや記録  
によって常時管理されているため、抜けたくても抜けられず、むしろ必死で工程上の「スピー  
ドを維持する」という使命に没入するほど責任を感じてしまうのである。

(410 字)

## 問 3 (60 点)

### 【採点のポイント】

- ・ブラックバイト問題をなくすための取り組みについて具体的に述べていること。
- ・自分の考えを論理的に述べていること。

### 【解答例 1】

ブラックバイト問題をなくすために、まずは退職自由の原則や労働時間や休憩時間について  
労働基準法の原則を使用者側、労働者側のそれぞれが理解し、法令順守をすることが必要であ  
る。特に学生アルバイトは、学生生活を犠牲にしてまで仕事の責任を負うものではないとい  
うことを、労使双方の常識にすることが必要だろう。

とはいえ、「抜ける」という発想以上に「スピードを維持する」ことを当然の使命と感じさ  
せる巨大な流通システムにどう対峙するかが問われる。フランチャイズのオーナーなどに、学  
生アルバイトの労務管理などに対する本来の人事権を持たせ、自律的に判断できる裁量権と管  
理者としての待遇を保障すべきで、「名ばかり店長」「名ばかり管理職」問題への国家の介入

は不可欠だろう。

さらに、法のメスを入れるためには、人件費の削減に依存した経営を見直すことが必要だろう。

(366 字)

### 【解答例 2】

ブラックバイト問題をなくすための方途を、規制の役割を担う政府、アルバイトを雇う企業、アルバイトをする学生という三者の視点に分けて考察してみたい。

まず政府は、適切な労働時間や労働環境を守らせるための監督を強化し、違反企業への指導や、場合によっては罰則も科していく必要がある。

しかし、ブラックバイトの現場では、オーナーや正社員もマニュアル労働の一コマにすぎないという実態もあるので、フランチャイズ本部である企業が変わっていく必要がある。「安く」「速く」という効率を絶対視した経営を改め、アルバイトを含む現場労働者の働きやすさを、顧客満足度と同様に重視すべきだ。当然労働コストは増えるだろうが、それを吸収できるように「高くても買ってもらえる」モノやサービスを開発していくことが必要である。

アルバイトをする学生は、ネットのロコミ等を利用して、ブラックバイトを避けることがまず自衛として必要である。ただ、ブラックバイトが社会問題化している今日、もし働いている先がブラックであった場合には、まずそのことを自覚し、ブラックバイト問題に詳しい労働相談窓口で支援を受けることが重要である。

(485 字)